



スズキ労連

2020年
10月号
労連定期大会
特集号

スズキ関連労働組合連合会
静岡県浜松市南区増楽町20
電話(053)447-3079 FAX.053-440-2838
発行人 武藤憲司
編集人 村松直樹

報告承認事項

- 1)第48期活動経過報告 (提案者:渡部 事務局長) 拍手で承認
- 2)第48期会計決算報告 (提案者:村松 副事務局長) 拍手で承認

〈質疑〉

Q. スズキ労組 奥野代議員

会計決算報告について、単年度の収入よりも支出が若干上回っている。コロナ禍では、支出が少なくなり単年度黒字になると思ったが、何か特別な支出があったのか教えて頂きたい。



スズキ労組 奥野代議員

A. 渡部事務局長

決算報告書の今期予算欄をご覧頂くと、繰越金も含めた支出を予算組みしています。コロナ禍で、研修会や旅費交通費など執行できなかった科目もありますが、組合員意識調査や集まらなくても良い活動も実施しています。組織と活動の充実のために、現時点では繰越金を使いながら活動する予算を組ませて頂いています。今期決算においては、繰越金を使用するのが、わずかに留まったと受け止めています。

- 3)第48期会計監査報告 (提案者:中川 会計監査人) 拍手で承認



1) 第48期活動経過報告
渡部 事務局長



2) 第48期会計決算報告
村松 副事務局長



3) 第48期会計監査報告
中川 会計監査人

議件

- 1)スズキ労連規程新設、改定の件(提案者:渡部事務局長)挙手にて採決 満場一致で可決
・情報システム整備基金規程の新設、会計処理規程の改定を提案
- 2)第49期予算(案)の件 (提案者:村松 副事務局長)挙手にて採決 満場一致で可決
- 3)顧問委嘱の件 (提案者:松浦会長代行) 拍手で承認

- スズキ労連 政治顧問 田口 章 静岡県議会議員
岩田 邦泰 浜松市議会議員
- スズキ労連 特別顧問 古川 正明 静岡県労働金庫 理事長



1) スズキ労連規程新設、改定の件
渡部 事務局長



2) 第49期予算(案)の件
村松 副事務局長



3) 顧問委嘱の件
松浦 会長代行

どんなことでもOK!
お気軽にご相談下さい。

スズキ労連
労働相談
窓口

仕事、職場、労働条件、コンプライアンス、人間関係、私生活...
悩みはいろいろあるけれど、職場ではちょっと相談しにくいなあ。

こんな時にはお電話を!

0120-500-073
*月~金 9:00~18:00
相談無料・秘密厳守

【スズキ労連】機関誌に対するご意見・ご要望がございましたら編集部までお気軽にお寄せ下さい。

編集部 〒432-8062 浜松市南区増楽町20
TEL.053-447-3079 FAX.053-440-2838
e-mail : muramatsu@suzuki-union.or.jp

◇スズキ労連ホームページ◇
<http://saw.gogo.tc/>
*スズキ労連の福利厚生・スズキ労連機関紙
共通パスワード... saw2007

【編集後記】 暑い夏が終わり、秋がやってきました。みなさんは〇〇の秋と言うと何を思い浮かべるでしょうか? スポーツの秋・読書の秋・芸術の秋などありますが、やはり食欲の秋という方が多いように思います。サンマ・梨・栗……旬のものが本当においしい季節ですね。季節の変わり目は体調を崩しやすい時期でもあるので、たくさん食べて乗り切っていきましょう。 むーらー

初のWEB中継も実施

全ての
議案が可決!

第49回定期大会



- 大会での感染拡大防止策として
- ・マスク着用、室内換気
 - ・アクリル板の設置
 - ・参加規模の縮小、開催時間の短縮
 - ・WEBの活用
 - ・参加者の検温、間隔の確保
 - ・座席、出入口の制限
 - ・手指のアルコール消毒
 - ・机、椅子、マイクなどの消毒実施等を行った上で開催しました。

第48・49期大会スローガン つなげる つながる 仲間の輪 仲間と築く新たな未来!

9月13日(日)にSUN会館にて新型コロナウイルス感染拡大防止対策を行った上で、スズキ労連第49回定期大会を開催し、すべての議件・報告が承認されました。

本大会は新型コロナウイルスの影響を考慮し、代議員29名(男性27名、女性2名)、出席代議員への委任状120名での縮小規模とし、秋田、新潟、富山、岐阜の出席代議員はWEBでの中継で参加頂き、開催しました。

大会は、武藤会長の執行部代表挨拶の後、報告承認事項・議件を提案し、いずれも満場一致で可決。その後、今大会にて退任する小玉顧問の表彰と退任挨拶をWEBで行い、閉会しました。初めてのWEB中継での開催となりましたが、参加者の皆さんのご協力により滞りなく開催することができました。コロナ禍ではありますが、決定した議案に基づき1年間の活動を推進してまいります。引き続き皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

【参加者】

代議員29名(男性27名、女性2名)
委任状120名(男性88名、女性32名)
執行部30名 会計監査2名 書記2名

【報告承認事項】

- 1)第48期活動経過報告
- 2)第48期会計決算報告
- 3)第48期会計監査報告

【議件】

- 1)スズキ労連規程新設、改定の件
- 2)第49期予算(案)の件
- 3)顧問委嘱の件

【各種委員】 ☆印は各委員長(敬称略)

- ◎資格審査委員:4名
- ☆工藤 健一<スズキ労連中執>
- 白井 晴行<スズキ労組>
- 巴 和弘<スズキ労組浜松支部>
- 中澤 和典<スズキ労組相良支部>
- ◎議事運営委員:4名
- ☆生熊 洋之<スズキ労連中執>
- 加藤 陽輔<スズキ輸送梱包労組>
- 鈴木 重則<スズキ納整労組>
- 横田 達也<スズキファイナンス労組>
- ◎議長団:2名
- ◎議長:2名
- 宮本 正之<スズキ労組湖西支部>
- 和田 真由奈<スズキ販売労組>



左:宮本 正之(スズキ労組湖西支部)
右:和田 真由奈(スズキ販売労組)

- ◎書記:2名
- 小林 泉<スズキ労組湖西支部>
- 山田 知美<スズキ労連>

スズキ労連 武藤会長あいさつ(要旨)



スズキ労連 武藤会長

※アクリル板による飛沫防止を行っているため、あいさつ中のみマスク無しとしています。

直近では政治、政局の大きな動きがありましたので、触れざるを得ないと思います。今回、安倍総理の辞任があり、16日には新たな総理が決定する状況となっています。

また、私たちが加盟する自動車総連の組織内議員が所属する国民民主党と、もう一つの野党である立憲民主党が解党し、15日に合流新党を設立する動きがあります。連合として一枚岩で一体感を持って取り組むためにも大同団結することには期待しますが、新党をつくるなら、共通の理念・政策を基本に、組合員・国民の期待や信頼感が醸成されなければならないとの認識のもと、これまで自動車総連を通じて議論を重ねてきました。しか

しながら、今回の合流の動きでは私たちスズキ労連、自動車総連が目指す状況には至っていないとの判断から、自動車総連組織内議員は、合流新党に参加しないことを決定しました。今後の合流新党との連携のあり方や、国政選挙の取り組みなどの対応は自動車総連を通じて協議を重ねていく予定です。現在、野党再編の真っ只中ではありますが、私たち自動車産業に働く者の政策に賛同してもらえる仲間づくりをしっかりと行うことができる体制を目指し、引き続き自動車総連とともに建設的な議論を行ってまいりますので、皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

さて、二年間の運動方針の後半1年間について、取り巻く環境も含め、私の認識を二点申し上げ、挨拶に代えたいと思います。

一点目は、「**新型コロナウイルスの影響について**」です。

経済の指標を見ますと、その落ち込みはリーマンショック以上とも言えると認識しています。内閣府が9月に公表した2020年4-6月期のGDP速報値は、前期比年率換算で28.1%減と戦後最大の落ち込みと言われてます。7月の有効求人倍率も1.08倍と前月から0.03ポイント低下し、1月から7ヶ月連続の下落と、雇用情勢も悪化してきています。

そして、私たちスズキグループの生産・販売にも大きな影響が出ています。スズキが公表している生産・販売実績を見ると、スズキの世界生産台数、販売台数はいずれも大きく前年割れとなり、影響は大変大きなものとなっています。市場の先行きを見通すことはできませんが、スズキ労連の事務局が仮定した2020年度の世界販売台数では、9月以降前年並みを維持したとしても、リーマンショック並みの生産・販売台数となる可能性もあるため、各労使での労使協議会を通じて、会社の置かれた状況を正しく認識し、労使が協力すべきは最大限協力をして、この未曾有の危機を乗り越えていかなければならないと、スズキ労連として認識しております。

コロナ禍においても企業の生き残りをかけて、技術提携をはじめとした研究開発投資を止めずに、100年に一度の産業構造変化にも対応しなければなりません。その意味では、単年度の業績に一喜一憂することなく、2030年やその先を見据えて、自らの働き方の質を高め、安心して働くことのできる職場づくりに、労働組合の立場から取り組んでいかなければなりません。

二点目は、「**職場の風土改善**」についてです。

私たち労働組合が活動するにあたり、その原点は、職場の声にあります。スズキ労連では、2018年より全組合員を対象に、組合員意識調査を実施しています。後ほどの活動経過報告でも報告がありますので、詳細は割愛しますが、今年4月の3回目の調査結果では、二年連続でマイナスに振れた回答と、改善が進んだ回答とがあります。これから、さらに「声を上げやすい職場づくり」を目指し、職場風土を改善していくには、私たち労働組合の果たす役割が重要です。各組合の様々な活動を通じて、職場の組合員とのコミュニケーションを取りながら、職場の良さや課題を労働組合がしっかりと把握をするという基本的な活動を今一度積み重ねていく必要があると考えます。

この調査結果ならびに課題については、8月に実施した労連労使会議にて、スズキの鈴木俊宏社長をはじめ、加盟の経営者とも共有をし、コロナウイルスの影響をはじめとする様々な課題を乗り越えるには、職場内のコミュニケーションの活性化、労使のコミュニケーション双方が重要であると、経営者とも共通認識に立つことができました。今後、調査結果を基に、スズキ労連加盟の各労使が、コミュニケーションがさらに活性化する仕組みを作るなど、労使での取り組みをしっかりと進め、スズキグループの魅力向上につながる取り組みに転換していきたく思いますのでよろしくお願い致します。

以上、「新型コロナウイルスの影響について」、「職場の風土改善」の二点を私の認識として申し上げます。コロナウイルスとの共生を前提に、Webなどのオンラインでの活動と、対面での活動を両立できるよう、全員で力を合わせ、活動をストップするのではなく、課題を乗り越えるための新たな方法にトライしながら、活動と参加者を広げる取り組みを行う49期にしたいと思います。

結びに、本日の大会をもって退任される顧問がいらっしゃいます。これまでの労連、各組合での労働者福祉に対するご尽力に、心から敬意を表するとともに感謝申し上げます。

皆さんの活動へのご理解とご協力を重ねてお願い申し上げます、執行部を代表しての挨拶とさせていただきます。よろしくお願い致します。

退任顧問・役員表彰

スズキ労連の発展にご尽力いただき、今回の大会にて退任される顧問の方に対し、これまでのご功労に感謝と敬意を込めて、大会にて表彰を行いました。

退任特別顧問表彰(1名)

氏名：小玉 俊己

出身単組：スズキ部品秋田労働組合

顧問期間：43期～48期

(2014.9～2020.9)

役職：特別顧問6年

(東北労働金庫副理事長)



WEBで退任あいさつを行った小玉顧問



スズキ部品秋田嶋田委員長(右)より表彰状を授与